

jura

GIGA X8c G2

取扱説明書



(水道直結式)

ブルーマチックジャパン株式会社

目次

安全上のご注意	2
各部の名称	5
付属品	7
ご使用の準備(はじめてお使いになる際に)	8
電源立ち上げ.....	10
抽出方法	11
電源立ち下げ.....	12
日中の清掃	13
毎日の清掃(ミルクシステムの洗浄)	14
毎日の清掃(ミルクシステムの分解洗浄)	15
毎日の清掃(コーヒーシステムの洗浄)	16
定期的な清掃と交換	17
各種設定モード	19
メッセージ表示	23
故障かなと思ったら	24
マシン内部の排水について.....	25
消耗品について.....	25
主な仕様	25
保証とアフターサービスについて	28
保証書	29

お客様へ

この度は、当社の全自動エスプレッソコーヒーマシン「GIGAX8c G2」をご購入いただき、誠にありがとうございます。マシンを安全に正しくお使いいただけるように、ご使用前にこのマニュアルをお読みになり、内容を十分ご理解ください。このマニュアルは安全な場所に保管して、必要な時に見ることが出来る状態にしておいてください。このマニュアルの不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、マニュアルに記載してある連絡先にお問い合わせください。

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です。必ずお読みください。)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品(電源コードやプラグを含む)の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかす等が無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行なってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。

- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水やコーヒー豆、コーヒーかす等を全て取り出し、洗浄を行ってください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや本装置を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時にはコードやプラグには触れず、また作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをオフしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用しないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置および据付時の注意事項

本製品は、使用および保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしったりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。



注意

- 設置および据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は屋内の平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚濁、変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は10～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。

- 水道に直結する場合には 0.5 メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、スケール抑制出来る浄軟水器の設置をお奨めします。
スケール詰まりを軽減させるため軟水装置(浄軟水器)を取り付けることをお奨めします。
- 浄軟水フィルターは定期的に交換してください。

操作を行なう時の注意事項



警告

- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの位置に注意をしてください。離れすぎている場合、飛沫やスチームが周辺に飛び、火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないでください。感電の危険性があります。
- コーヒーマシンが作動中にホッパーの中に手を入れないでください。怪我の原因になります。
- ミルク系統の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくともミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。



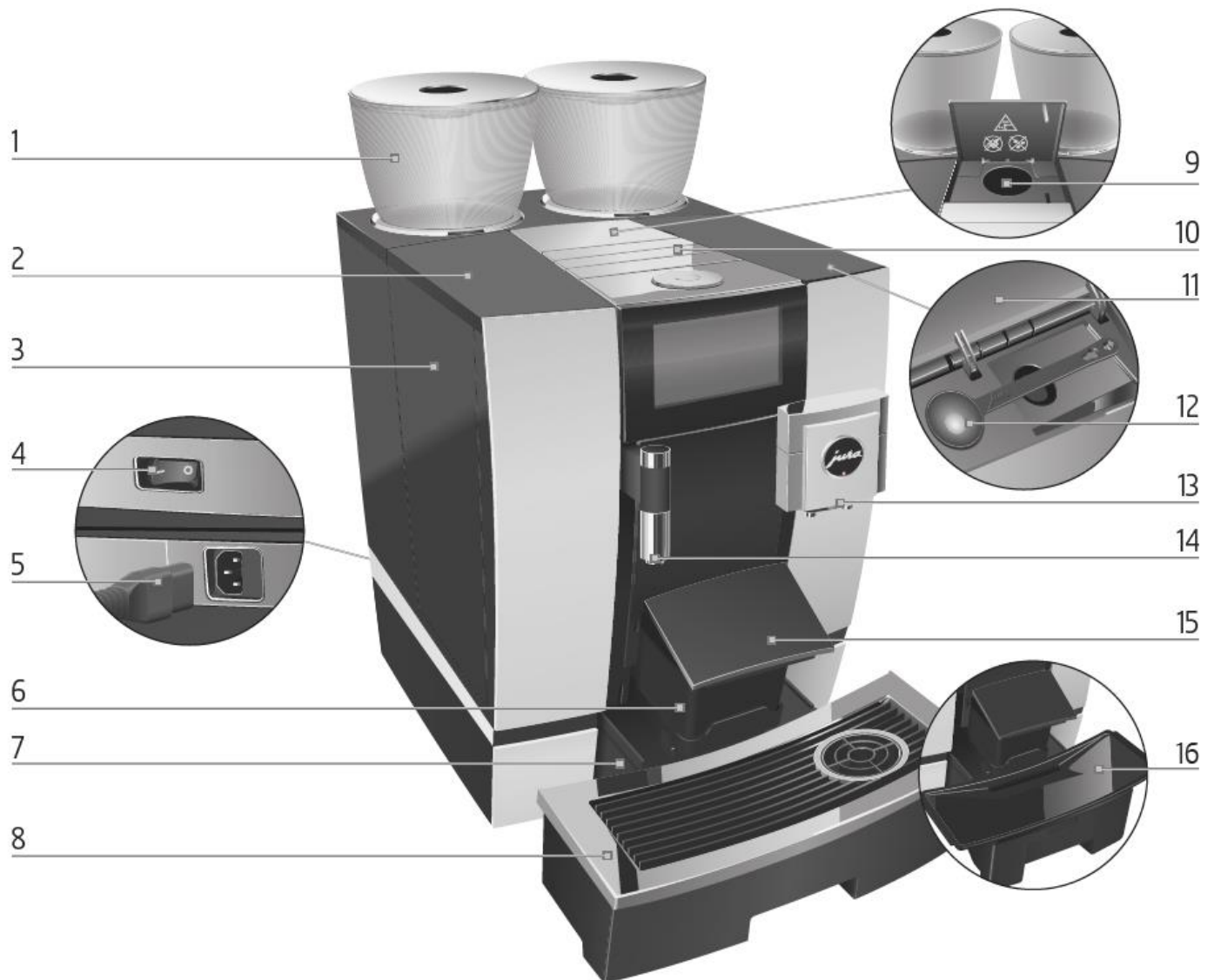
注意

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスター等の食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出中は、コーヒーマシンから十分離れてください。
抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- コーヒー豆用ホッパーは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておくとも雑菌が繁殖することがあります。
- ホッパー内にコーヒー豆が入っている状態でホッパーを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとホッパーが破損します。
- 機器にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンスおよび安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0 度以下になる室内外に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。
- 機器の清掃には、アルコールなどの薬品は使用しないでください。

各部の名称

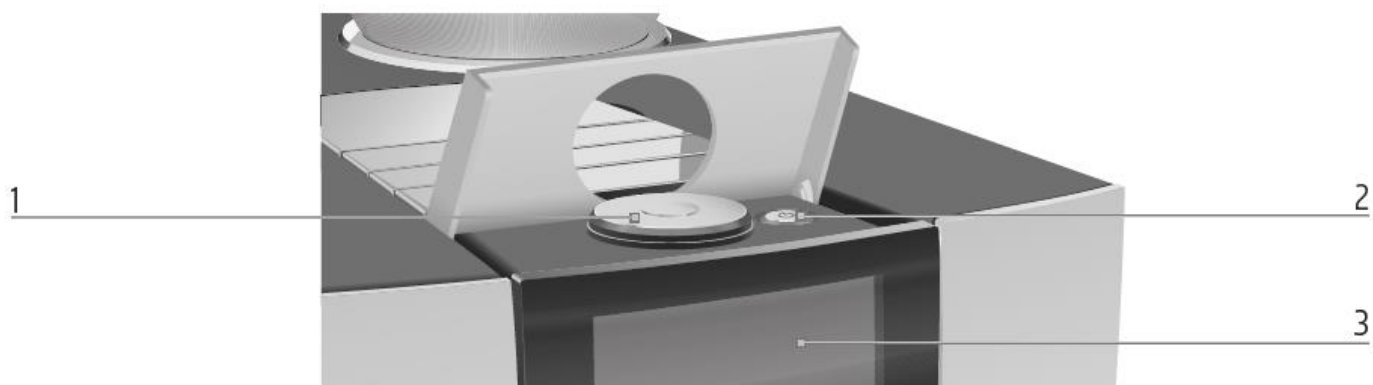


- 1 コーヒー豆容器、および、豆容器フタ
- 2 水タンクカバー
- 3 水タンク(使用しません)
- 4 主電源スイッチ(マシン背面下部)
- 5 電源ケーブル・インレット (マシン背面下部)
- 6 コーヒーカス容器
- 7 排水トレイ
- 8 カップ置き

- 9 洗浄タブレット投入口
- 10 ベンチレーションリブ(換気口)
- 11 スプーン格納カバー
- 12 計量スプーン
- 13 抽出ノズル (高さ調整可能)
- 14 給湯ノズル (高さ調整可能)
- 15 コーヒーカス容器カバー
- 16 ドリップトレイ内蓋

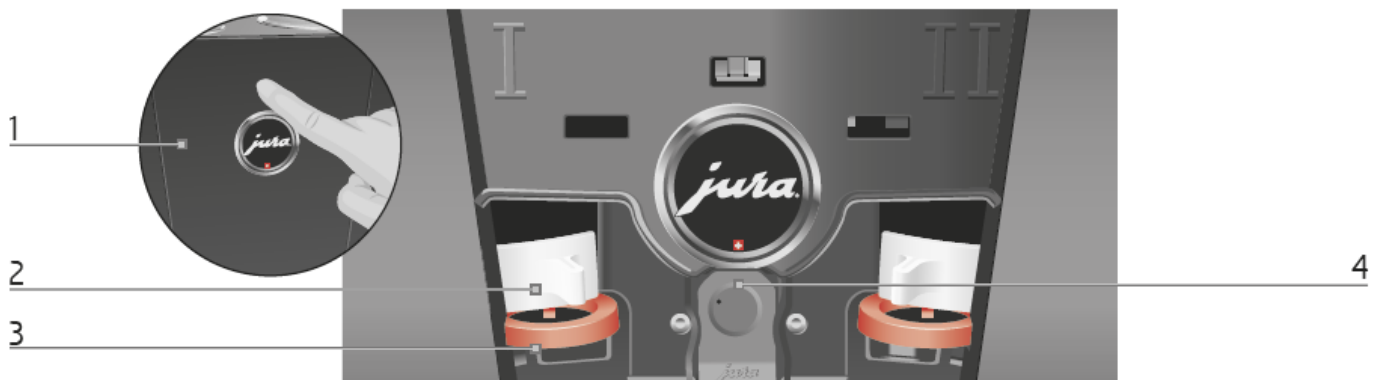
各ボタン等の説明

マシン前面



- 1 ロータリースイッチ (メニュー(M)セクター)
- 2 電源ボタン
- 3 タッチパネルディスプレイ

マシン背面



- 1 背面カバー (ロゴの上部を指で押すと外れます。)
- 2 豆容器ロックレバー
- 3 豆ストッパー
- 4 スマートコネク外 (スマートコネク外を取り付けてない場合は取付口となります。)

付属品

名称	個数
電源コード	1
テスター (水の硬度試験紙)	1
給水管	1
ミルク抽出口*1	2
ミルクチューブ 750mm *2 (1本はミルク/容器接続ジョイント付き[両端]、1本はチューブのみ)	2
ミルククリーン用容器	1
ブラシセット(4本組)	1
ミルクチューブクリーナー (200ml サンプル)	1
コーヒーマシンクリーナー (20錠サンプル)	1
ロックキー (水タンクカバー鍵とグラインダー挽き目調整用)	1
取扱説明書	1

*1 定期交換をお勧めしている部品の次回交換用です。

*2 設置状況に合わせて短く切って使用します。

ご使用の準備(はじめてお使いになる際に)

1. マシンの置き場所

- ① マシンは、水平で、水に濡れても問題のない所を指定して設置ください。
- ② マシンは、オーバーヒートを防ぐために涼しい所に設置した上で、マシン上面の換気システムをふさがないように注意してください。

2. 給水

給水ホースの接続を確認し、給水の元栓を開けて水を供給してください。

3. ミルク接続

ミルクチューブを抽出ノズルの右側にある吸い込み口に接続し、ミルクチューブ先端をミルククーラーのミルクコンテナへ差し込んでください。

- 🔑 上質で、クリーミーなミルクフォームを作るためには、専用のミルククーラーの接続をお勧めします。
- 🔑 クーラーは涼しい所に設置してください。

4. 電源接続

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。必ずアース接続してください。
※単相 200V AC、定格 15A 以上の電源を単独使用し、それ以外の電源では使用しない。
- ② 本体の電源プラグインレットにケーブルを差し込みます。

5. はじめてお使いになる際に初期設定画面がでた場合

※サービスマンが設定を行った場合は不要です。

画面の手順に従って、初期設定を行ってください。

Choose language (言語の選択) → 20 ページ

日付 → 19 ページ

単位表記 → 20 ページ

時刻 → 19 ページ

フィルターの使用 → 使用する場合、「1」を設定

フィルター容量 → 8 ページ、18 ページ

加熱 → システム内に水を供給 → 加熱 → マシンすすぎ → ミルクシステムすすぎ

6. フィルター容量と水の硬度設定

※サービスマンが設定を行った場合は不要です。

(1) フィルター容量の設定

あらかじめ、フィルターの容量(何リットル浄水が可能か)を確認してください。

<フィルター容量の設定方法>

- ①.xx ページを参照してください。「P」を押し、プログラムモードに入ります。
- ②.「お手入れステータス」1/4 が表示されていることを確認してください。
- ③.「ミルクシステムの洗浄 洗浄 ...」をタッチした後、指で画面の中央部を右から左に滑らして、2/7 「フィルター交換」を表示してください。
- ④.指で「おいしいコーヒーのために新鮮な水を入れてください」をタッチしてください。
- ⑤.「はい」をタッチしてください。
- ⑥.フィルターの容量の数字をタッチしてください。

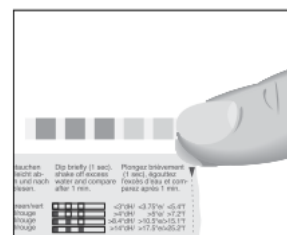
- ⑦.「保存」をタッチして、設定値を保存してください。
- ⑧.終了するには、「もどる」をタッチしてください。

(2) 水の硬度設定

° dH 硬度は付属のテスターを使って確認してください。

<硬度の確認方法>

- ①.付属テスターを袋から取り出し、蛇口から出る水道水に約 1 秒間さらします。
- ②.水気を切り、その後 1 分間放置します。
- ③.テスターの色が変わっている数をテスターの袋に記載されている硬度表と照合し、硬度を設定します。



<硬度の設定方法>

- ①.xx ページを参照してください。「P」をタッチし、プログラムモードに入ります。
- ②.指で画面の中央部を右から左に滑らして、「マシン設定」2/4 を表示してください。
- ③.「電源オフ 省エネルギーモード ...」をタッチした後、指で画面の中央部を右から左に滑らして、13/18 「水の硬度」を表示してください。
- ④.「水の硬度設定」をタッチして、設定画面を表示し、中央の帯を、指で右または左に滑らして、硬度の値を表示してください。
- ⑤.「保存」をタッチして、設定値を保存してください。
- ⑥. 終了するには、「もどる」をタッチしてください。

7. アクセサリーとの接続

※サービスマンが設定を行った場合は不要です。

クールコントロールや機器対応のワイヤレス可能アプリで接続できる機器がある場合、接続設定を行ってください。あらかじめ、フィルターの容量(何リットル浄水が可能か)を確認してください。

- ①.20 ページを参照してください。「P」を押し、プログラムモードに入ります。
- ②.指で画面の中央部を右から左に滑らして、「マシン設定」2/4 を表示してください。
- ③.「電源オフ 省エネルギーモード ...」をタッチした後、指で画面の中央部を右から左に滑らして、15/18 「アクセサリへの接続」を表示してください。
- ④.「Bluetooth を有効にする」をタッチし、画面の指示に従って、「次へ」をタッチする等の操作をしてください。

電源立ち上げ


1. コーヒー豆の補給

コーヒー豆容器には、香りを逃がさないための保護フタが付いており、コーヒーのアロマを永く保ちます。

- ① 豆容器フタを開けてください。
- ② コーヒー豆容器内に豆以外の異物がないか、確認してください。
- ③ コーヒー豆を入れてフタをしっかりと閉めてください。

! コーヒー豆容器には、粉コーヒーやフリーズド・ドライコーヒーを入れないでください。グラインダーの故障につながります。

2. ミルク接続(ミルク補給)

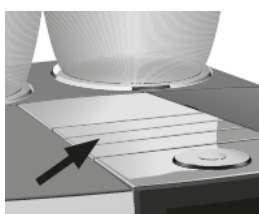
- ① 事前に電源 ON した冷えたミルククーラーにミルクをセットし、ミルクチューブ先端をミルクへ差し込んでください。
 使用するミルクは成分無調整のミルクをおすすめします。

3. 立ち上げ(電源 ON)

- ① 背面の電源ケーブル上部にある主電源スイッチをオンしてください。
- ② 抽出ノズルの下にカップを置きます。
- ③ 上面カバー内にある電源ボタンを ON して、マシンを始動してください。
- ④ ディスプレイにロゴマークが表示され、本体が起動します。起動中「Machine is heating」が表示されます
- ⑤ マシン加熱後、「Machine is rinsing」と表示され自動すすぎが開始されます。
- ⑥ 抽出ノズルから水が出て、一定時間後に自動的に停止しメニュー選択画面が表示されます。



! 注意: 電源 ON/OFF 時、写真のベンチレーションリブが動くため上には物を置かないでください。作動時にきちんと動かないとエラー(ERROR 16)が出て5秒後に電源が OFF されます。豆や異物が挟まる場合も同様です。



抽出方法

1. 抽出の仕方

次の2つの抽出方法を選択できます。

👉 タッチパネルメニューによる抽出

ディスプレイに表示されるメニューをタッチすることで抽出ができます。メニュー選択後、再度画面をタッチすると抽出条件の設定が可能です。画面に触れながら上下左右に動かすこと(スワイプ)で抽出内容の調整が可能です。

👉 M(メニューセレクト)による抽出

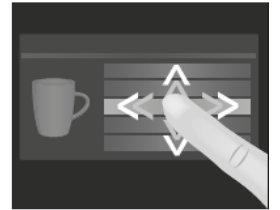
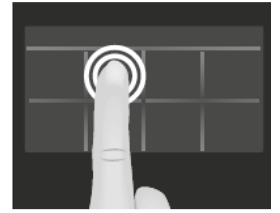
ロータリースイッチを回すとタッチパネルメニューのほかに15種類のメニューが表示されます。ロータリースイッチでメニューを選び中央部のボタンを押すことで抽出ができます。

操作がない場合、10秒後にディスプレイがタッチパネルメニューに戻ります。

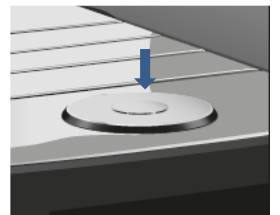
👉 メニュー商品の抽出中にロータリースイッチ、または、

「↑」ボタンでいつでも抽出を止められます。

※ロータリースイッチにロックをかけている場合は動きません。



ロータリースイッチ



2. メニューボタン

複数のメニュー商品がディスプレイ上に表示されます。

ディスプレイに表示されているメニューをタッチし選択してください。

(抽出の例)

① 抽出ノズルの下にカップを置いて、「コーヒー」ボタンをタッチしてください。

② 「コーヒー」が表示されカップに注がれ、設定された量になると自動的に止まります。

抽出が完了すると再びメニューが表示されます。

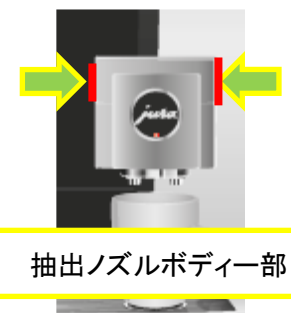
※ 2杯取りの場合は2杯取りボタンを押すことで、2杯のコーヒーを同時に抽出することができます。

※ ミルクメニューではミルクがコーヒーノズル抽出口部後ろの2つの抽出口から出ていることを確認してください。

また、ミルクシステムは毎日洗浄しなければなりません。

⚠️ 使用上の注意点

カス廃棄または、排水を捨てる際のトレイの抜き差しや、抽出の際カップの高さに合わせて抽出ノズルを上下に動かす時は、左図の矢印の位置(抽出ノズルボディー側面の上部)を持って上下させてください。

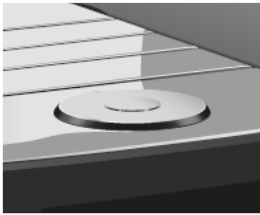


抽出ノズルボディー部

3. M(メニュー)セクター画面の使用

ロータリースイッチを回すと、メニュー商品が M セクター画面としてディスプレイに表示されます。

もし、何も抽出操作をしなければ、10 秒後に M セクター画面は消えてタッチパネルでの選択画面に戻ります。ロータリースイッチのロックをかけている場合は動きません。



[M セクター画面を使ったリストレット抽出の例]

- ① M セクター画面を使って、リストレットを抽出する例です。ディスプレイにメニューが表示されていること、ミルクが抽出ノズルに接続されていることを確認してください。
- ② 抽出ノズルの下にカップを置いてください。
- ③ ロータリースイッチを回して、M セクター画面を表示してください。「Ristretto」が表示されるまで回してください。
- ④ ロータリースイッチの中央を押すと、設定されたリストレットが抽出されます。
- ⑤ 抽出完了後、初期画面が表示されます。

4. お湯

お湯の温度は、「高」、「中」、「低」を選べます。

注意)お湯は火傷の危険性があります。皮膚への直接的な接触は避けてください。

前提条件:メニュー画面が表示されている時に行なってください。

- ① カップを給湯ノズルの下に置いてください。
- ② 「hot water」ボタンをタッチしてください。「hot water」画面でお湯の量が表示されます。




電源立ち下げ

1. 電源 OFF

電源 OFF した時、もし、抽出中でなければノズルは自動的にすすがれます。

- ① 抽出ノズルの下に水受け容器を置いてください。
- ② 上部のカバーを開き、電源ボタンを押して OFF してください。自動的に、コーヒー抽出ラインとミルク抽出ラインを洗浄します。
- ③ 電源 OFF 後、0.1W 以下でスタンバイモードに入ります。電源コード差込口の上にある主電源スイッチを OFF することで、完全に電源から切り離すことができます。
- ④ マシン OFF 後のミルクはミルククーラーから取り出し冷蔵庫に保管をしてください。

日中の清掃

- コーヒーを抽出した後は、ブルーイングユニットが汚れます。
特にミルクを使用したメニューを抽出した時には、ミルクの吸引チューブや出口が汚れてきます。
- マシンのトラブル発生(抽出詰まりやミルクの泡立ちが悪い等)を減少させる対策として、毎日のマシン清掃が不可欠です。清掃作業を行うことで、常にマシン状態を良好に保ち、安定したコーヒーを抽出できます。
-  **注意: 食器洗浄機、乾燥機、アルコールの使用はやめてください。故障の原因になります。**

1. ミルクすすぎオートリンス

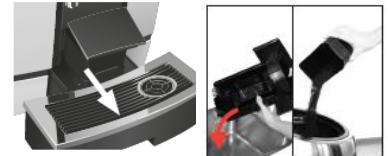
ミルクメニューを抽出後およそ 2 分経過すると、ミルクシステムクリーニングを実施するかどうか、確認の表示が出て待機します。ミルクメニューを抽出後、およそ 15分抽出がされなかった場合、自動的にミルクすすぎを行います。

※待機中にもオートリンスで使われるお湯は排水トレイに流しても問題はありません。

2. コーヒーカス容器、排水トレイの清掃

マシンの故障を低減し、末永くお使いいただくために、また、高品質のコーヒーを抽出するために、毎日の掃除が必要です。

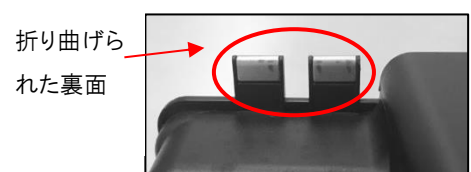
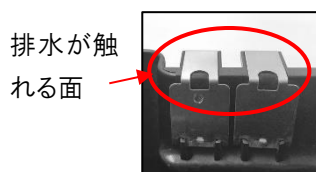
また、カス容器がいっぱい表示、排水トレイがいっぱい表示の際にはどちらの容器も空にしてください。



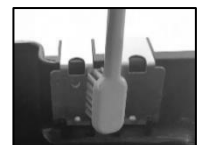
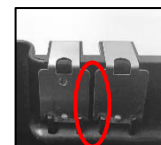
カス容器は約 40 杯でアラームが表示されます。カス容器を戻す際は抜いてから 10 秒程してから戻すとリセットされます。抜いてからすぐに戻したり、電源が OFF 状態ではリセットされません。アラームが表示される前にカス容器を抜いた場合は必ず容器を空にしてから戻してください。

 **注意: 食器洗浄機、乾燥機、アルコールの使用はやめてください。故障の原因になります。**

- ① コーヒーカス容器カバーを開き、排水トレイを少し上に上げながら引き出してください。
- ② コーヒーカス容器と排水トレイを空にして、ぬるま湯で洗ってください。
- ③ 排水トレイの奥にある小さな金属板はセンサーです。
金属板の表面(排水が触れる面だけではなく、折り曲げられた裏の面)を乾いた布できれいに拭いてください。



2 枚の金属板の間に汚れが残らないようブラシ等を使用して清掃をしてください。(中性洗剤を使用すると、効果的です)



- ④ コーヒーカス容器と排水トレイを元にセットしてください。
- ⑤ 水タンクの内部を、きれいな水で洗ってください。
- ⑥ マシンの外部を、やわらかくきれいな布で拭いてください。



3. 任意の時間にすすぎを行いたい場合

コーヒーシステムのすすぎを実行できます。

コーヒーノズルとミルクノズルを同時にすすぎます。

- ① 抽出ノズルの下に水受け容器を置いてください。
- ② 画面右上に表示されている P 表示にタッチしてください。
- ③ 「お手入れステータス」1/4 画面が表示されたら、「ミルクシステムの洗浄 洗浄 ...」をタッチしてください。
- ④ 画面をスライドさせて「すすぎ」5/7 を表示し、画面をタッチしてください。
- ⑤ [マシンをすすぎます] が表示され、すすぎが開始され抽出ノズルから水が流れます。
[ミルクシステムをすすぎます]の表示のあと、すすぎは自動的に止まります。
- ⑥ 終了するとメニュー選択画面に戻ります。



毎日の清掃

ミルクシステムの洗浄

所要時間約3分

🔔 ミルクを使用しない場合は、この清掃は不要です。

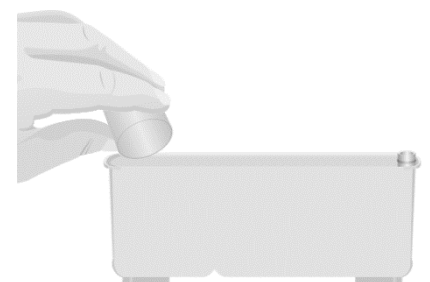
🔔 ミルクを使用しない場合でも、ミルクメニューを選択すると、本作業が必要になります

ミルクシステムの洗浄

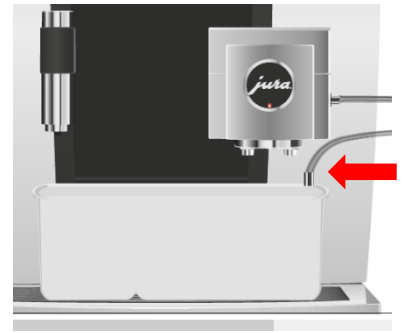
- ミルクを使用したコーヒーを抽出した時には、ミルクの吸引チューブから抽出口までが汚れます。そのため、ミルクチューブ内側やミルクシステムの内側に残った油脂をきれいに洗います。
- マシンのトラブル発生(抽出詰まりやミルクの泡立ちが悪い等)を減少させる対策の一つとして、毎日のマシン清掃が不可欠です。清掃作業を行うことで、常にマシン状態を良好に保ち、安定したミルクフォームを抽出できます。
- 部品の洗浄に食器洗浄機、乾燥機を使用しないでください。熱でゆがみが生じ、故障する場合があります。

🔔 もし、不適切な洗浄剤を使用した場合、マシンがダメージを受けます。弊社が販売するミルクチューブクリーナーのみをご使用ください。

- ① 画面左上の P 表示をタッチしてください。
- ② 「お手入れステータス」1/4 画面が表示されたら、「ミルクシステムの洗浄 洗浄 ...」をタッチしてください。
- ③ 画面をスライドさせて「ミルクシステムクリーニング」4/7 を表示し、画面をタッチしてください。
- ④ 「スタート」をタッチしてください。
- ⑤ 再度「スタート」をタッチすると、「ミルク用洗浄剤」と「ミルクチューブを接続」が交互に表示されます。ここで、ミルクチューブクリーナーをミルククリーン用容器の左側に 30ml 入れます。(付属のミルクチューブクリーナーをご使用ください)。



- ⑥ ミルククリーン用容器をカップ置きの上のこの上に置き、ミルクコンテナからチューブを抜き、ミルククリーン用容器の接続口にさします。
※ミルククリーニング用容器の向きに注意



- ⑦ 「次へ」をタッチします。
⑧ 「ミルク洗浄中」が表示され、給湯ノズルと抽出ノズルの両方からお湯が自動で出ます。
⑨ 動作は自動的に止まり、「ミルクシステムの洗浄終了」が表示されます。
⑩ メニュー選択画面に戻ります。

毎日の清掃

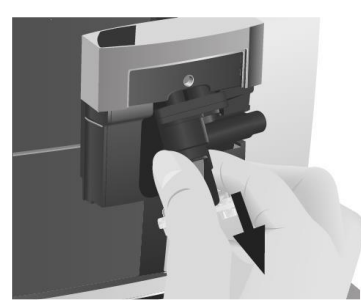
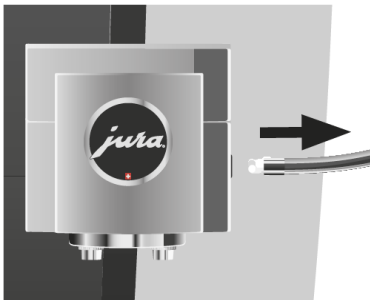
ミルク抽出口の分解洗浄

所要時間約 10 分

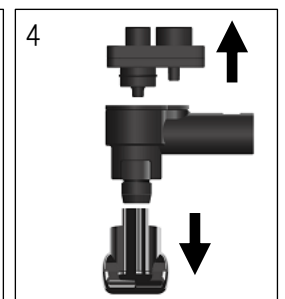
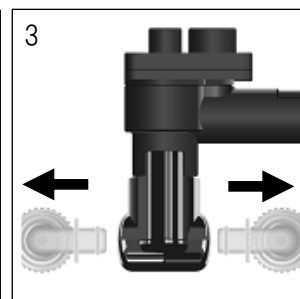
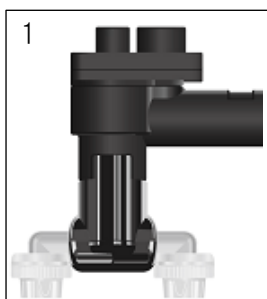
1. ミルク抽出口の分解と清掃

ミルクをご使用の際には、ミルク抽出口を毎日分解して、清掃する必要があります。

- ① ミルクチューブを取り外し、流水にて、すすいでください。続けて、ノズルカバーを手前に引いて取り外してください。
- ② ミルク抽出口のノズル部分を手前下方に注意深く引き抜いてください。



- ③ 交換式ミルク出口を後ろ側にゆっくり 90 度回転させ、引き抜いてください。続いて、ノズル部分の上部、中央部、下部を引き抜き抜いてください。交換式ミルク出口を回転させる方向を間違えたり 90 度以上回転させたりするとフォーム分岐の破損につながります。ご注意ください。



- ④ 取り外した個々の部品を流水で十分に流しながら洗浄してください。
付属のブラシを使って内部を清掃しながら水できれいに流してください。



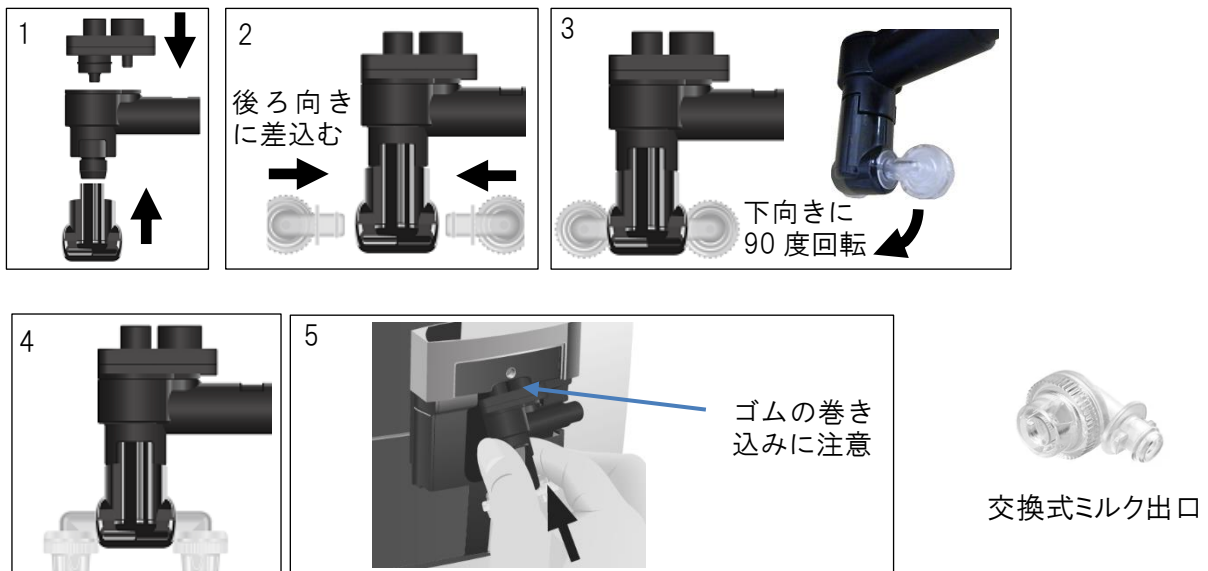
注意: 食器洗浄機、乾燥機、アルコールの使用はやめてください。故障の原因になります。

- ⑤ 汚れがひどい場合や乳石が付着した場合、ミルクチューブクリーナーを 10 倍の水で希釈して、その溶液に 15 分以上浸してから、じっくり流水ですすいでください。

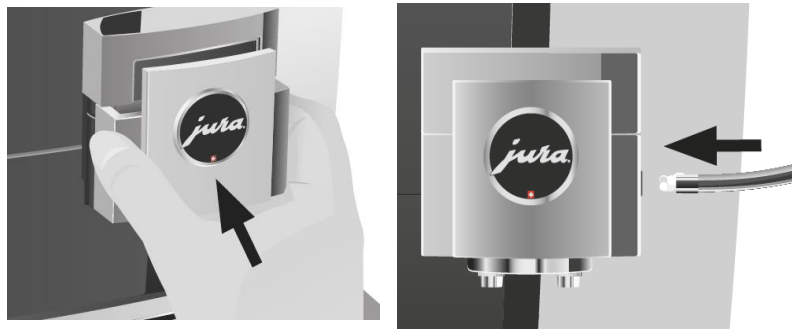
注意：交換式ミルク出口は消耗品です。ミルク汚れが取れなくなる、傷やクラックなどが見られた場合は交換が必要です。（推奨は2か月に一度の交換です）。

傷ついたままのご使用は交換式ミルク出口の脱落などにつながります。衛生管理の観点からも定期的な交換をご推奨します。

- ⑥ 破損や変形等しないよう十分注意しながら、先ほどと逆の手順で再度組み立てを行い、ミルク抽出口のノズル上部をしっかりと差し込んでください。交換式ミルク出口を回転させる方向を間違えたり 90 度以上回転させたりするとフォーム分岐の破損につながります。ご注意ください。




- ⑦ ノズルカバーを取り付けて、ミルクチューブを抽出ノズルに差し込んでください。



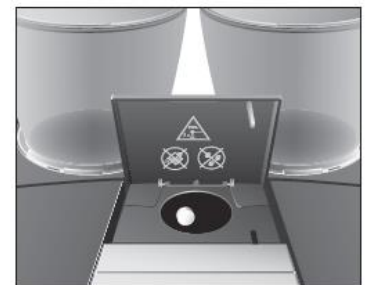
- コーヒーを抽出した時には、コーヒーの経路が汚れます。詰まり等を予防するためきれいに洗います。
- マシンのトラブル発生(抽出詰まり等)を減少させる対策の一つとして、毎日のマシン清掃が不可欠です。清掃作業を行うことで、常にマシン状態を良好に保ち、安定したコーヒーの抽出できます。
- 部品の洗浄に食器洗浄機、乾燥機を使用しないでください。熱でゆがみが生じ、故障する場合があります。

1. コーヒーシステムの洗浄(タブレットクリーニング)

 間違った洗浄剤を用いるとマシンに悪い影響を与える恐れがあります。ブルーマチックジャパン指定のマシンクリーナーをご使用ください。

 **マシン洗浄プログラムを中断しないでください。洗浄の品質が保てなくなります。**

- ① 画面右上のP表示をタッチしてください。
- ② 「お手入れステータス」1/4 画面が表示されたら、「ミルクシステムの洗浄 洗浄...」をタッチしてください。
- ③ 「マシン洗浄」1/7 が表示されたら、「しっかり洗浄 長い間保護するために」をタッチしてください。
- ④ 「スタート」表示をタッチしてください。
- ⑤ 再度、「スタート」表示にタッチしてください。「カス容器を空にしてください」が表示されます。
- ⑥ 抽出ノズルと給湯ノズルを上に移動し、排水トレイとコーヒークラス容器を取り出すと、「排水トレイを挿入してください」の表示がでます。
- ⑦ 排水トレイとコーヒークラス容器を空にした後、再度、セットしてください。
※排水トレイは 15 秒以上出した状態にしてください。短いと、「カス容器を空にしてください」が再度表示されます。
- ⑧ 「ロータリースイッチを押して下さい」が表示されますので、ロータリー中央ボタンを押してください。
- ⑨ 「マシン洗浄中」が表示され、抽出ノズルから水がでます。
- ⑩ 動作が中断し、「洗浄剤を入れてください」が表示されます。
- ⑪ 洗浄タブレット投入口を開けて、マシンクリーナーを1錠投入し、再度、フタを閉めてください。
※付属のマシンクリーナーをご使用ください。
- ⑫ 「ロータリースイッチを押して下さい」が表示されますので、ロータリー中央ボタンを押してください。「マシン洗浄中」が表示され、抽出ノズルから水がでます。
- ⑬ 洗浄が終わりに近付くと動作が中断し、「カス容器を空にしてください」が表示されます。
- ⑭ 抽出ノズルと給湯ノズルを上に移動し、排水トレイとコーヒークラス容器を取り出すと、「排水トレイを挿入してください」の表示がでます。
- ⑮ 排水トレイとコーヒークラス容器を空にして、再度、セットしてください。
※排水トレイは 15 秒以上出した状態にしてください。短いと、「カス容器を空にしてください」が再度表示されます。
- ⑯ 「クリーニングが終了しました」が表示されます。
- ⑰ メニュー選択画面に戻ります。



なお、マシンは、180 回のメニュー抽出、または80回のすすぎで、洗浄を促す表示がされます。

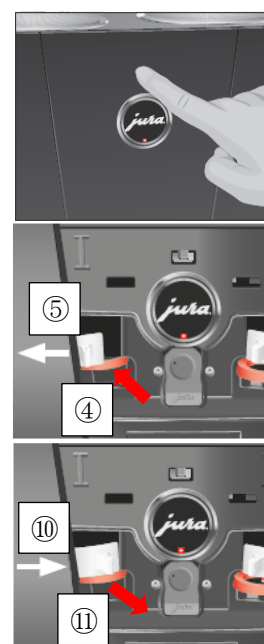
定期的な清掃と交換

- コーヒー豆の油脂は、コーヒー豆容器の内側に汚れとして付着します。その汚れは、コーヒー豆の劣化を早め、コーヒーのクオリティに影響を与えます。汚れの付着のある時は、容器を掃除する必要があります。

1. コーヒー豆容器清掃

豆の使用量にもよりますが、週1回以上時期を決めて、定期的に清掃をしてください。「豆容器に豆がありません」「右側豆容器に豆がありません」が表示されている時は、コーヒー豆容器内のコーヒー豆が少ないため、作業は行いやすくなります。

- ① 電源ボタンで、マシンを OFF にしてください。
- ② マシン後ろの主電源スイッチで、電源を切ってください。
- ③ マシン後ろの背面カバーを開くため、ロゴ上部を指で強く押してください。
- ④ 豆容器の下部にある豆ストッパーを閉めるために、赤のストッパーレバーを完全に押し込んでください。（豆が引っ掛かり奥まで入らない場合があります）
- ⑤ 水色のブロッキングレバーを外側にスライドしてください。
- ⑥ 豆容器を上へ取り外してください。（赤のストッパーレバーが奥まで入っていないと抜けない場合があります）
- ⑦ 豆容器フタを外して、豆容器を空にしてください。
- ⑧ 豆容器を柔らかく乾いた布で掃除してください。
※液体を使用しないこと
- ⑨ 豆容器をマシンにセットしてください。
- ⑩ 青いブロッキングレバーを内側へスライドしてください。
- ⑪ 赤い豆ストッパーを手前に引いてください。
※赤い豆ストッパーきちんと手前に引いてない場合、豆が挽かないことがあります。
- ⑫ 背面カバーを元に戻して、ロゴの上をカチッと音がするまで押して、ラッチしてください。
- ⑬ コーヒー豆を入れて、豆容器フタを閉めてください。



2. ミルク抽出口とミルクチューブの交換

衛生管理と安定したミルク抽出を目的に、ミルク抽出口とミルクチューブを2カ月毎に交換する事をお勧めします。



3. フィルター(浄軟水器)交換

- フィルター(浄軟水)は、長期間使用すると機能が低下してきます。定期的に新しいものに交換する必要があります。
- フィルターの使用に関して、約 5000 リットルで自動的にフィルター交換をお知らせします。フィルターは、ブルーマチックジャパン指定の浄軟水器をご使用ください。

注意:マシンに使用するフィルターは軟水能力の有る(水の硬度を下げる)フィルターを推奨します。
定期的な交換がされない場合、フィルターの目詰まり、マシン内部のスケール詰まり等が起きる可能性が高まります。

交換時期:『フィルター交換』表示がでる』または『使用開始後1年が経過した』のどちらか早い時期。



- ① カートリッジの説明書に従い、カートリッジを交換してください。
- ② 画面左上のPをタッチしてください。
- ③ 「お手入れステータス」1/4 画面が表示されたら、「ミルクシステムの洗浄 洗浄 ...」をタッチしてください。
- ④ 画面をスライドさせて「フィルター交換」2/7 を表示し、「おいしいコーヒーのために新鮮な水を入れてください」画面をタッチしてください。
- ⑤ 「フィルターを交換してください」画面のフィルター設定をリセットで、「はい」をタッチしてください。
- ⑥ 「フィルター容量(リットル)」画面の数値に変更が無ければ「保存」をタッチしてください。
容量を変更する場合は、数値を「バックスペースキー」で削除した後に、希望する容量を設定し、「保存」をタッチしてください。
- ⑦ 「保存しました」が表示され、メニュー選択画面に戻ります。



各種設定モード

P(プログラム)ボタンをタッチすることでプログラムモードへ入ることができます。

画面をスライド(スワイプ)するか、ロータリースイッチを回すことで画面を変え、指定する項目をタッチ(一部の項目は、メニュー(M)セクターを押す)ことで、ページ切替と項目設定を実行する事ができます。

※プログラム設定はマシンの状態の設定、および、メニュープログラムの設定変更が行なえるため、お取扱いには、十分注意してください。

プログラム項目	サブ項目	説明
お手入れステータス (1/4) 	マシン洗浄(1/7)	コーヒー経路クリーニング(クリーナー使用)。 [16 ページ参照]
	フィルター交換(2/7)	カートリッジ使用状態(赤色バー表示)、リセット容量に到達すると、アイコン全体が赤色になる。 [18 ページ参照] ※「フィルター不使用」に設定されている場合は表示されない。
	※CA 除去 (スケール除去)(3/7)	(フィルター不使用の場合)
	ミルクシステムクリーニング(4/7)	ミルク経路のクリーニング(クリーナー使用)。 [12 ページ参照]
	すすぎ(5/7)	コーヒー経路とミルク経路のすすぎ
	画面ロック(6/7)	タッチパネル画面の表示ロック
	メンテナンス情報(7/7)	メンテナンス時の注意書きを表示
マシン設定(2/4)  <p>※スマートコネクの接続有無によりサブ項目でページ表記が変わります。 スマートコネク有り: (○/18) スマートコネク無し: (○/16)</p>	オフまでの時間(1/18, 1/16)	自動的に電源が切れるまでの時間設定。 15分、30分、1~15時間で設定。
	時刻(2/18, 2/16)	現在時刻の設定。 修正の場合、数値を「バックスペースキー」で削除した後に、希望する時刻を2桁で設定。
	日付(3/18, 3/16)	年月日の設定。 修正の場合、数値を「バックスペースキー」で削除した後に、希望する日付を2桁で設定。
	タイマー(4/18, 4/16)	電源が自動でオン/オフする時刻の設定。 時刻欄をタッチして曜日毎あるいは毎日で設定。 ※主電源スイッチはONにしておく。
	グラインダー選択(5/18, 5/16)	グラインダー選択と比率設定の有効無効選択。 0:有効 1:無効 (左右にスライド)
	挽き粗さ設定(6/18, 6/16)	グラインダー毎の引き目の設定。 5種類から選択。(上下にスライド)
	省エネルギー(7/18, 7/16)	節電モードの有効/無効設定 0:無効。ヒーターは常にONなので、直ぐに抽出開始 1:有効(ESMのロゴ表示)。抽出後約5分経過したらヒーターを切る。抽出前にヒーターを加熱する。

	機能の可否(8/18, 8/16)	機能毎に有効/無効設定を行う。(鍵アイコン表示) 抽出中の変更。エキスパートモード。ロータリースイッチ。アラーム表示。
	初期設定に戻す(9/18, 9/16)	工場出荷状態にもどす。 設定が変わらない値の例:日付、時刻、タイマー、挽き目設定等。
	単位表記(10/18, 10/16) ml/oz	ml/oz 表示切替
	単位表記(11/18, 11/16) 24h am/pm	24 時間表示/12 時間表示の表示切替
	表示設定(12/18, 12/16)	画面の明るさ調整
	水の硬度(13/18, 13/16)	水の硬度の設定
	言語の設定(14/18, 14/16)	言語の選択画面
	アクセサリーの接続(15/18)	Bluetooth接続を有効にする。 0.5m以内、電波の強い方がつながる。 アクセサリーの取扱説明書も参照。
	アクセサリーの接続を切る(16/18)	Bluetooth接続を切る。
	システムを空に(17/18, 15/16)	輸送時や保管時の凍結防止。 長期で使用しない場合も実施する。
	バージョン(18/18, 16/16)	ソフトウェアバージョンの表示
メニューの設定(3/4) 	抽出条件設定	画面表示される各抽出メニューに対する個別の抽出条件やメニュー名、表示位置変更等を設定。
情報表示(4/4) 	合計抽出杯数(1/3)	メニュー毎の合計抽出杯数を表示。右上の 1/3 等の表示部をタッチすると、画面が変わる。
	日毎抽出杯数(2/3)	1日に抽出した杯数を表示。右上の 1/3 等の表示部をタッチすると、画面が変わる。 カウンターを0にすることが可能。
	お手入れ回数(3/3)	実施したお手入れの回数を表示

1. 抽出メニュー毎の条件設定

(1)メニュー設定

- ① P ボタンをタッチし、「メニュー設定」3/4 を選択します。
- ② 「湯量 コーヒーの濃さ ...」をタッチします。
- ③ 設定したい抽出メニューを選択します。

以下はコーヒーを選択した時の画面です。

- ④ 「メニュー設定」をタッチし、設定画面を出します。
- ⑤ 変更したい項目を上下にスワイプしてオレンジ色の中央の表示位置へ移動し、左右にスワイプするなどして、数値(設定)を変更してください。
- ⑥ 「保存」をタッチすることで設定されます。



<設定一覧>

飲み物の種類	コーヒーの濃さ	量	その他の設定
リストレット エスプレッソ コーヒー スペシャル アメリカーノ ルンゴ	10段階	湯: 15~290ml 追加湯量: 0~580ml	湯温: 高/中/低 グラインダー: 割合(0%、25%、50%、75%、100%)
エスプレッソ ダブル	10段階	湯: 15~290ml 追加湯量: 0~580ml	湯温: 高/中/低 グラインダー: 割合(0%、25%、50%、75%、100%)
ポットコーヒー	10段階	湯: 15~290ml 追加湯量: 0~580ml 抽出分割数: 無(1)~5 分割	湯温: 高/中/低 グラインダー: 割合(0%、25%、50%、75%、100%)
x 2 (2杯)	-	2倍の抽出量	湯温: 高/中/低 グラインダー: 割合(0%、25%、50%、75%、100%)
カプチーノ ラテマキアート, フラットホワイト, カフェラテ	10段階	湯: 15~290ml 追加湯量: 0~580ml ミルクフォーム: 0~120 秒 ミルク: 0~120 秒 ポーズ: 0~60 秒	湯温: 高/中/低 グラインダー: 割合(0%、25%、50%、75%、100%) ミルク温度: 10段階 ミルクフォーム温度: 10段階
ミルクフォーム ミルク	-	ミルクフォーム: 0~120 秒 ミルク: 0~120 秒	ミルク温度: 10段階 ミルクフォーム温度: 10段階
熱湯 熱湯(お茶用) 熱湯(紅茶用)	-	湯: 25~450ml	湯温: 高/中/低

追加湯量: 追加のお湯の量

抽出分割数(ストローク): 分割して抽出する回数

ポーズ: コーヒーとミルク抽出の間の停止時間

※ミルクフォーム温度は、温度を高くする程泡の質が悪くなります。レベル5を目安にしてください。

(2)メニュー名

タッチした後、名称を入力してください(アルファベットのみ)

(3)削除

ディスプレイの表示場所から削除され、空欄になります。

(4)位置変更

表示したい位置のメニューを選択した後で「位置変更」をタッチすると、その場所に、別のメニューを表示することができます。

(5)コピー

選択したメニューと同じ設定の同じメニューを別の位置にコピーします。

コピーした後、メニュー名の変更だけでなく、湯量等の設定変更も行えます。

(6)X2

選択したメニューの2杯のメニューを画面上に表示することができます。

2. 挽き目調整

※挽目を変更した場合、変更したグラインダーが使用しているメニューは味の確認を行なってください。。

① P ボタンをタッチし、「マシン設定」2/4 を選択します。

② 「電源オフ 省エネルギーモード ...」をタッチした後、指で画面の中央部を右から左に滑らして、「挽き粗さ設定」6/18 を表示してください。

③ 中央の「挽き粗さ設定」をタッチすると、左右それぞれのグラインダーの挽き目を調整することができます。

④ 最初に左側のグラインダーの設定を行います。画面を上下にスワイプして挽き目の粗さを選択してください。

⑤ 選択後、「保存」をタッチすると保存されます。

⑥ 続いて右側のグラインダー設定を行います。同様の手順で設定できます。

⑦ 「保存」をタッチすると保存が完了です。



3. 機能の可否

以下の機能の有効無効の設定です。

(1)抽出中の変更

抽出中に、コーヒーの濃さや湯量等の変更ができる機能。

(2)エキスパートモード

抽出した後に、その抽出した時の設定情報を保存する機能。

(3)ロータリースイッチ

ロータリースイッチを使って、通常表示されないメニューを表示させて抽出を行う機能。

(4)アラーム表示

電源をONした時に、アラームメッセージを表示する機能。

4. 情報表示

(1)合計抽出杯数

マシンが製造されてからのメニュー毎の抽出杯数累計。

(2)日毎抽出杯数

カウンターを0リセットする機能があり、リセット後のメニュー毎の抽出杯数の累計。

1日単位でリセットをすることを想定して「日毎抽出杯数」という名称にしています。

(3)お手入れ回数

マシンが製造されてからの「クリーニング」「クラリス交換(浄軟水器の交換)」「ミルクシステムクリーニング」等の実施回数の累計。

メッセージ表示

メッセージ	原因	アクション
カス容器を空にしてください	カス容器が満杯です。 ※抽出回数で判断していますので、カス箱が満杯になる杯数になると表示されます。	カス容器を空にしてください。同時に、排水トレイの水を排水してください。
排水トレイを空にしてください	排水トレイに水が溜まり、満水状態です。	排水トレイの水を排水してください。
フロントカバーを閉じてください	コーヒーカス容器のふたが開いています	ふたを閉じてください
排水トレイを挿入してください	排水トレイがセットされていないか、または、正常にセットされていません。	排水トレイをセットしてください。
豆容器に豆がありません 左側豆容器に豆がありません 右側豆容器に豆がありません	豆容器が空です。 コーヒーを使ったメニューを抽出することができませんが、お湯、または、ミルクはご提供できます。	豆を補充してください。 背面カバーを開けて、豆容器の赤いストッパーを手前に引いて開いているか、確認してください。
ミルクシステムの洗浄が必要	ミルクシステムの洗浄を促しています。	「毎日の清掃」の「ミルクシステムの洗浄」を実施してください。
マシンを洗浄してください	マシン洗浄を促しています。	「毎日の清掃」のコーヒーシステムの洗浄をみて、マシンを洗浄してください。
カルキ除去: (CA 除去)	CA 除去を促しています。	弊社より販売している別売 CA 除去剤で水垢を除去してください。水垢除去の方法はCA 除去剤に添付のマニュアルを参照ください。
コーヒー粉が足りません	洗浄時以外の時に「洗浄タブレット投入口」を開閉し、抽出動作が開始されたときに表示されます。	選択画面が表示されたら、そのままお使いいただけます。
カバーが外れています	背面カバーが外れています。	背面カバーを取付けてください。

※上記以外のメッセージが表示された時には、弊社コールセンターへご連絡ください。

故障かなと思ったら

事象	原因	アクション
電源が入らない 電源ボタンのランプが点かない 液晶ディスプレイの表示が出ない。	ブレーカーが落ちている コンセントから電源プラグが抜けている。 マシン後ろの電源ソケットからケーブルが抜けている 背面の主電源スイッチが切れている	ブレーカー確認 電源プラグをコンセントに差し込み確認 電源ソケット差し込みを確認 背面の主電源スイッチの確認
メニュー商品抽出が途中で止まり、豆容器が満杯にも関わらず、「豆容器に豆を入れてください」が一旦表示される。	背面にある豆容器の赤い豆ストッパーを手前に引いておらず、オープンされていないか、または、十分に引っ張り出されていない。	マシンの背面のサービスカバーを空けて、赤い豆ストッパーを手前に引っ張り、豆のゲートを開け、マシンに豆を送り込んでください。
コーヒーの出が悪い。 コーヒーが出ない。	豆の挽き目が細かすぎ フィルターの目が詰まっている。 豆容器が油汚れで豆の貼り付き コーヒー豆が湿気っている	豆の挽目を粗くしみる フィルター交換 豆容器が清掃。 コーヒー豆新鮮なものとの入替え
コーヒー濃度が薄い。 豆がうまく挽けない。	豆容器の赤い豆ストッパーが開いていない 豆容器に豆以外の物が入っている コーヒー豆容器が油汚れ コーヒー豆が湿気っている コーヒー豆が古い コーヒー豆の挽き目が細かすぎる	豆容器の赤い豆ストッパーを引っ張り開ける 豆容器の中の異物が無いか確認 豆容器が清掃。 コーヒー豆新鮮なものとの入替え 豆の挽目を粗くしみる
ミルクフォーム泡立ちが悪い フォームが全く泡立たない ミルクが飛び散る ミルクが吸い上がらない	ミルクシステムのノズルが汚れている。 ミルクチューブの詰まり、折れ、曲がり ミルクシステムの取り付け不備 ミルクシステムの組み立て不備 ミルクフォームやミルクの温度設定が高い	ミルクシステムの洗浄 ミルクシステムの分解洗浄 ミルクチューブの確認 ミルクシステムの組み立て、と取り付けの再確認 ミルクフォームやミルクの温度設定を下げる
豆容器が空にも関わらず、「豆容器に豆を入れてください」が表示されない。	豆感知センサーが汚れています。	豆容器をきれいに洗ってください。
「排水トレイを空にしてください」が常に表示される。	排水トレイの金属コンタクト部分が汚れているか、濡れています。	排水トレイの金属コンタクト部分を中性洗剤を使ってきれいに洗い、金属部分の間を含めて乾いた布でよく拭いてください。
「ERROR 2」「ERROR5」が表示される。※マシンは OFF されます。	マシンは安全上の理由からヒータリング電源を止めることがあります。 寒冷地などの低温地帯において、もし、マシンが長時間に亘って冷たい状態にさらされた場合。	電源を入れ直してください。 寒冷地ではマシンを室温まで戻してください。 注：室温が零度以下になる場合、必ず水を抜いてください。
他のエラーメッセージが表示される。	—	マシンの背面にある主電源を切って、ブルーマチックジャパンへお問い合わせください。

マシン内部の排水について

冬季の運搬、運送、または、冬季を跨いだ保管を行なう際には、システム内部の凍結を防止するため、システム内の水を空にしてください。前提:メニュー選択表示されている時に行ないます。

(注) 凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。

- ① 水の受容器を抽出ノズル、および、給湯ノズルの下に置いてください。
- ② P ボタンをタッチしてください。「マシン設定」2/4 を選択します。
- ③ 画面をスワイプするかロータリースイッチを回して、「システムを空に」を選択してください。
- ④ 画面指示に従い、ロータリースイッチのボタンを押してください。
- ⑤ 抽出ノズル、および、給湯ノズルからお湯がでます。排水終了後、動作は自動的に停止します。

消耗品について

次の項目は、消耗品です。ご購入に際してはブルーマチックジャパンにお問い合わせください。

ミルク抽出口	シリコンチューブ 750mm
ミルク/容器接続ジョイント	ミルク用吸気口
ミルククリーン用容器	ミルクチューブクリーナー
コーヒーマシンクリーナー	ブラシセット
コーヒークラス容器	排水トレイ
カップ置き	ドリフトレイ内蓋

主な仕様

電源電圧	200V (50/60Hz)
消費電力	2200W
動作周囲温度	10℃～35℃
動作周囲湿度	80%以下
ポンプ圧力	最大15bar(静的圧力)
インレット圧力	最大 0.5MPa
コーヒー豆用キャニスター容量	約 650g 2 個
コーヒー豆挽きカス容量	約 40 杯分
電源ケーブル長	約 1.6m
重量	約 19kg
サイズ	32x56.5x49.7cm

<< ㄨㄚ >>

<< メモ >>

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間: 365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 GIGA X8c G2 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書（業務用マシン）

型名	GIGA X8c G2	
シリアル番号		
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お客様	お名前	
	住所	〒 電話（ ）

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品（新品）が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合（事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。）

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由のない費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由のない費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要となる費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手順の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）」に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損傷。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等）の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損傷。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態を確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事象に起因する故障及び損傷。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時までに発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

大阪(営)：大阪府大阪市西区阿波座 1-9-9

阿波座パークビル 5 階

福岡(営)：福岡県福岡市博多区豊 1-5-24 丸信ビル 108

